

# 令和7年度学校運営連絡協議会実施報告

東京都立竹早高等学校

## 1 組織

- (1) 東京都立竹早高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長、総務部主任（事務局長）、経営企画室主事 計3名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、教務部主任、生活指導部主任、進路・探究部主任 総務部主任  
計7名
- (4) 協議委員の構成  
保護者代表1名、同窓会代表1名、近隣中学校長2名、近隣専門学校長1名、大学教員1名、  
地域公共機関代表2名、 計8名

## 2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和7年6月19日（木） 16:00～17:00 校長室

内部委員7名、協議委員5名、  
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出  
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題  
本校の現状と課題等説明  
いじめ防止(学校サポートチーム)の委嘱も実施。

第2回 令和7年11月13日(木) 16:00～17:00 校長室

内部委員7名、協議委員8名  
学校近況報告、学校評価アンケート項目の検討、本校の現状と課題等、  
いじめ防止(学校サポートチーム)、意見交換・協議、

第3回 令和8年2月5日（木） 16:00～17:00 校長室

内部委員7名、協議委員8名  
学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議  
次年度に向けた方向性の確認

- (2) 評価委員会の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和7年11月13日（木） 15:30～16:00

内部委員2名、協議委員1名  
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察、  
今年度の学校評価の実施に向けた検討、学校評価アンケートの観点・項目の確認

第2回 令和8年2月5日（木） 15:30～16:00

内部委員2名、協議委員1名  
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理  
評価報告書（原案）の検討

### 3 学校に関するアンケート調査

#### (1) 学校評価の観点

「満足度」「学習指導」「進路指導」「生活指導」「その他（ICT活用、国際理解教育等）」の観点で実施する。

#### (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月	全校生徒	対象：735人	回収：318人	回収率：43%
・12月	保護者全員	対象：735人	回収：607人	回収率：82%
・12月	教職員	対象：51人	回収：32人	回収率：62%

#### (3)

##### ①学校への満足度

肯定的な回答が平均90%であり、日々の教育活動の成果と考えられる。引き続き教育活動をより一層充実させるとともに、生徒が主体的に学習でもその他の教育活動においても自己実現を図れるよう指導していくが重要である。

##### ③学習指導

「熱心に教えてくれる先生が多く、知的好奇心・向上心が刺激される授業が行われている」について、生徒は85%と肯定回答であった。保護者は83%から77%と肯定回答が若干下降した。「授業の基礎的・基本的な内容は、理解できている。」について生徒は82%に対して、「教科指導の工夫・改善により基礎的・基本的な事項の徹底を図っている。」について、教職員は100%であった。また、「授業のカリキュラム（教育課程）・進度・内容・レベルは、大学受験等の進路に対応している。」について、生徒75%、保護者76%、教職員100%が肯定回答であった。生徒保護者と教員の回答が乖離していることが懸念である。授業内容、展開、指導については、概ね良好であるが、教員が基礎学力の定着のために課す課題について、保護者や生徒は課題が多いと指摘しており、課題の調整を図りつつ必要十分な課題について生徒保護者に理解を図っていくことが重要である。

##### ④生活指導

「自律的な生活態度を養い、自分で考え行動する等、学校生活を支援するものになっている。」について、生徒は87%、保護者は89%、教職員は87%の肯定回答である。「本校は、日頃からの生徒の理解に努め、体罰やいじめなどを含め、様々な問題を見逃さず、悩みや相談に真剣に対応している。」について、生徒は83%、64%、教職員95%であり、三者での乖離が若干見られる。生徒理解に基づいた指導においては、教育相談体制を確認し体制あり方やSCの活用等、さらに情報発信することが必要である。

##### ⑤特別活動

「学校行事は充実している」「社会の形成者としての資質・能力の育成を図れる内容となっている」について、生徒、教職員が90%以上を占め、良好といえる。「部活動は、主体的に参加でき、内容も充実している。」について、生徒、保護者、教職員ともに80%を超えており、概ね良好と言

える。今後も生徒の自主性を尊重しつつ、社会性を含めたモラルやマナーを踏まえて指導する。

#### ⑥進路指導

「本校は、生徒の進路希望に対応した進路情報の収集や提供など適切な進路指導を行っている」について、生徒88%、保護者80%の肯定回答である。「本校は、進路・探究部と学年が連携し、3年間を見通した進路指導が行われている」について、教職員は84%の肯定回答であった。

「進路情報の活用や進路室の利用、進路相談機能の充実が図られている」について、教職員は87%の肯定回答であった。生徒へはもちろんのこと、保護者においても時期に応じた情報発信に努め、生徒の進路希望に対応した進路指導の充実を図ることが重要である。

#### ⑦その他

##### ○ICT活用

「教育活動（授業・ホームルーム等）におけるICT（情報通信技術）の活用は、有効であり、充実している」について、生徒、教職員ともに80%を越える肯定回答である。ICTを活用については、有効な活用の仕方について、組織的に研修や実践を重ねていくことが必要である。

##### ○防災関係

「学校は、避難訓練や防災講話など、防災や安全に関する指導を積極的に進めている」について、生徒の肯定回答は、60%台であるが、依然として多くの生徒が課題としている。自由意見欄の記載内容を含め、防災組織を機能させ、生徒の主体的な防災活動を取り入れていく。

##### ○案内・情報提供

「ホームページやClassi等により、学校からの情報提供を行っている（情報提供は、充実している）」について、生徒は88%、保護者は96%、教職員は100%の肯定回答であり、概ね良好として捉えることができる。特に保護者、教員は連絡ツールとして利便性良く活用している。

##### ○読書活動

「生徒が本や電子書籍に触れ、読書する機会を増やすように努めている」について、生徒は44%、保護者は49%、教職員は75%の回答であり、生徒及び保護者と教職員に乖離があり、昨年度と同様に学校は取り組んでいるが、生徒及び保護者に価値づいていないと捉えられる。日常の図書館利用に加え、ビブリオバトルの活性化や読書月間の働きかけの工夫等、計画的に読書活動を推進していく必要がある。

##### ○国際理解教育

「学校の国際理解教育の取り組みは、充実している」について、生徒は75%、保護者70%、教職員88%の肯定回答である。イギリスでの海外研修は盛況であり、自由意見欄では「海外研修の機会をもっと増やしてほしい」といった保護者のニーズは高まっている。グローバル化の進展に目を向けて、さらに充実させていく。

##### ○環境整備

「学校は、施設の清掃など校内美化に努め、授業や生活がしやすいように整備している」につい

て、生徒は72%、教職員は79%の肯定回答になっている。自由意見では、トイレ改修への要望が強く表れており、翌年度に予定されている改修を含め、可能な限りの対策を講じていくことが重要である。

#### ○説明、対応

「学校は教育方針（教育目標等）や学校の取組を分かりやすく保護者に伝えている」について、保護者は93%の肯定回答であった。「学校は、保護者への連絡や意志疎通を積極的に行い、要望に対して迅速に対応している（窓口業務含む）」について、保護者は83%の肯定回答であった。概ね満足できる回答であったが、保護者の不信感につながりやすい内容であり、引き続き丁寧な説明や連絡、対応をしていくことが重要である。

#### ○学校経営

「本校は、学校経営計画に沿い、各分掌は組織的な学校運営を行っている」について、教職員は79%の肯定回答であった。組織的な学校運営について、概ね良好と言えるが、「わからない」と答えた保護者への理解啓発に努める。

#### ○働き方

「国や東京都が働き方改革に取り組んでいる」について、保護者は54%、教職員が34%の回答であった。業務の見直しや改善を組織的に行い、働き方改革に繋げていく必要がある。

### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題

#### (1) 学校連絡協議会を実施して得られた成果

- ア 学校評価アンケートの回答率が低くなっている。来年度、回答への工夫が必要である。
- イ 生徒たちの部活動や学校行事へ期待感が高く、学校満足度にも繋がっている。
- ウ 学習指導や学校行事について、三者ともに理解や共感が得られていることが分かった。
- エ Classi 等による学校からの情報提供への期待感が高いことがわかった。

#### (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ア 「入学したことに満足している」の回答は3者とも90%に達していることから、本校への満足度は高い。より一層、本校の教育活動を充実させていく必要がある。
- イ 引き続き、学校ホームページやClassiをはじめとする各種通信、または保護者会や父母と教師の会の会合などを通じて、より一層、丁寧に学校の取組みを発信していく必要がある。
- ウ 教職員のICT活用技術も向上してきたが、今後もICT等に関する研修などを積極的に行い、教職員のさらなるICT活用技術の向上に取り組む必要がある。
- エ 「わからない」と回答した保護者あてに、どのようにして発信していくかが課題である。

### 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善（学校経営計画への反映）

#### (1) 学校運営

- ア 学校経営計画の具現化のための組織的な学校運営を行う。
- イ 生徒の希望進路実現のため、3年間を見通した組織的系統的なキャリア教育を、進路部を中心として行う。
- ウ 教育活動の保護者への確実な伝達や相互理解の充実に努める。

エ ホームページの充実・最新情報への更新、教職員全体による広報活動を充実させる。

(2) 学習指導

ア 教科を中心に日常的な相互の授業観察、大学入試問題の分析等を踏まえた授業研究を行い、個々の教員の力量を高めていく。

イ 課題の精選や時期について、教科間で連携を図り効果的な取組に努める。

ウ 自習室の活用や講習会の適切な実施等により、自学自習の態度・習慣を身に付けさせるとともに、対話的で深い学びのための方策について一層の工夫をしていく必要がある。

エ 学校図書館や図書委員会のビブリオバトルをはじめとした読書活動を推進し、引き続き生徒の未読率減少に努める。

(3) 特別活動

ア 学校行事について、生徒の自主性を尊重しながらも、完成度が高まるように教職員が指導する。

イ 部活動について、生徒の自主性を尊重しながらも、成果をあげられるように教職員が支援する。

(4) 生活指導

ア 生徒に、教員の支援の意図を正しく理解させる指導を継続する。

イ 「生徒に考えさせる指導」、「時間を守る」、「身だしなみを整える」、「あいさつをする」等の意識・姿勢の育成とともに、帰属意識と社会性を育てる生活指導を継続する。

(5) 進路指導

ア 進学指導推進校として、生徒の進路希望を高いレベルで実現できるような支援を継続する。

イ 低学年から進路指導室を利用する機会を拡大するよう進路指導を工夫する。

ウ 保護者へ進路情報などを適切に提供し、生徒の進路希望に対応した進路指導を継続する。

エ 三者面談の機会を積極的に設けて、情報交換を行い、生徒の自己実現を図る。

(6) 健康・安全

ア 生徒の心身の健康を保持・促進するために、教育相談活動を充実させる。スクールカウンセラーを有効活用するため、全員面談の充実や教育相談の周知方法を工夫する。

イ 生徒の生命の安全確保に向け、共助の視点も取り入れた効果的な防災訓練を実施する。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 8名

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
7	1	0	0	0	0

(1名未回収)

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

なし